

宮代町教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成26年度事務事業)

平成27年8月

宮代町教育委員会

目 次

はじめに	・・・	1
I. 平成26年度宮代町教育行政重点施策	・・・	2
II. 評価方法について	・・・	2
III. 施策ごとの事務事業の点検・評価		
基本目標1 町民の創意を生かした生涯学習の推進	・・・	3
基本目標2 未来をひらく、心豊かでたくましい児童生徒の育成	・・・	7
基本目標3 教育環境の整備・充実	・・・	19
基本目標4 人権を尊重する心豊かな人づくりの推進	・・・	21
基本目標5 家庭・地域の教育力の向上	・・・	23
基本目標6 伝統文化の継承と新しい町民文化の創造	・・・	25
基本目標7 町民の健康増進とスポーツ・レクリエーションの振興	・・・	27

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされています。

宮代町教育委員会では、同法の趣旨に基づき、「宮代町教育行政重点施策」に沿って教育行政の執行状況を自己点検し、今後の教育行政に生かすとともに、町民のみなさまに説明責任を果たすべく、平成26年度における教育委員会の事務に関する点検・評価を実施し報告書にまとめました。本報告書を通して、町民のみなさまに各事業がどのように展開されているのか、その執行状況を公表し、ご意見をいただき、よりよい宮代町の教育を充実、実現してまいりたいと考えております。

なお、この点検・評価を行うにあたりましては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するとともにその客観性を確保する観点から、3名の外部評価委員からご意見をいただきました。
今後とも教育行政の執行状況について点検・評価を実施し、効果的な教育行政を推進してまいります。

平成27年8月

宮代町教育委員会

I. 平成26年度宮代町教育行政重点施策

宮代町教育委員会は、「憧れを未来につなぎ、生きる力をはぐくむ宮代教育」の実現をめざし、人間尊重の精神を基調として、生涯学習社会を築き、時代や社会の変化に積極的、かつ柔軟に対応した教育を推進するため、平成26年度教育行政重点施策の基本目標を次のとおり定めました。

町民一人一人が、さまざまな社会環境の変化に対応し、人間と環境が調和した景観を創造していきながら、ゆとりと生きがいのある充実した生活を送るため、自ら学び、豊かな感性と創造性に富み、地域社会に貢献できる21世紀を担う心豊かな人間の育成が図られるよう町民の期待に応える教育を推進してまいります。

基本目標

1. 町民の創意を生かした生涯学習の推進
2. 未来をひらく、心豊かでたくましい児童生徒の育成
3. 教育環境の整備・充実
4. 人権を尊重する心豊かな人づくりの推進
5. 家庭・地域の教育力の向上
6. 郷土の伝統文化の継承と新しい町民文化の創造
7. 町民の健康増進とスポーツ・レクリエーションの振興

II. 評価方法について

1. 自己評価

教育委員会では、平成26年度に実施した各事務事業の実施結果を、「I. 宮代町教育行政重点施策」に掲げる各目標に照らした「達成度合い」を以下の4段階に分けて自己評価を行いました。

◎ 前進	○ 達成	△ 未達成	× 未実施
実施内容の向上・改善 新たな取組みの実施	教育重点施策に掲げる 目標を達成	予定・計画の水準未達 期限までに未完了	事業未実施

2. 外部評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、教育委員会の事務の点検評価にあたっては「教育に関し学識経験を有するものの知見を活用する（同法第27条）」とされています。平成26年度に実施した各事務事業の点検評価にあたっては、「1. 自己評価」に基づき、3名の方に点検評価を行っていただきました。

氏名	分野
小島 隆子	学校教育（元小学校長）
矢戸 義之	保護者（宮代町PTA連絡協議会）
手島 亙	生涯学習（宮代町体育協会）

〔敬称略〕

1 町民の創意を生かした生涯学習の推進

(1) 生涯学習活動の推進	所 管	自己評価
ア. 生涯を通じた多様な学習活動の推進	生涯学習	○
イ. 町民参画による講座等の充実	生涯学習	○
ウ. 公民館の管理・運営の充実	生涯学習	○

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼市民参加により各事業を実施 多くの町民が体育祭、町民文化祭、成人式、みやしろ大学、市民大学みやしろ、郷土かるた大会に役員、実行委員として参加</p> <p>▼みやしろ大学の開催 [H26.4~12] ※ () 内はH25 登録225名(210名) アンケート満足度 90% (89%) ・受講生から運営委員 (7名) を募り、自主的に企画・運営</p> <p>▼町民文化祭の開催 (H26.11.1~11.4) ※ () 内はH25 発表 1,524人 (1,516人) / 展示 2,051人 (2,122人) ・日頃の生涯学習活動の成果を発表する場、制作者や発表者の励みとなり、鑑賞者が活動に参加するきっかけづくりを实践</p> <p>▼成人式の開催 (H27.1.11) ※ () 内はH25 出席者数 240人 (244人) 出席率 67.0% (61.9%) ・新成人11人が実行委員となり、二十歳の思い出となる式を自分たちの力で実現</p>	<p>・生涯学習の活動の場を幅広く推進し成果を上げていると思われます。 ・今後の更なる発展を期待して、下記について提案します。</p> <p>・「成人式」の参加率が低いと感じます。多くの若者が参加できるような取組みを期待します。 ・各種事業の実施にあたってはPRが大切です。それぞれの「売り」「対象」が明確であれば、上手いと考えられます。また、多方面の角度からのPRも必要ではないでしょうか。</p>
<p>▼各種補助金制度を活用した活動支援 ・公募制補助金制度 スポーツ、文化芸術、青少年活動に補助し、テニス等9教室・新春ロードレース等9大会の開催のほかスポーツ少年団、ボーイスカウト等の活動を支援 ・特定分野総括助成金 体育協会 レクリエーション協会、文化協会の広報活動、各加盟団体活動費等を助成</p> <p>▼市民大学みやしろ ・オーバー50代のためのお茶とお菓子と3B体操講座 (H26.5.26) 14人 ・たくみの村木工講座 (H26.5~H27.3 計19回) 4人(延59人) ・みやしろ図書館塾 (H26.11.8) 29人 ・子どもDIY講座 (H27.3.14) 9人</p> <p>▼市民参加による各講座等の実施 みやしろ大学、市民大学みやしろ</p>	<p>・生涯学習に関わる各団体とも、基本は「ボランティア活動」であると思います。更なる活性化を目指すには様々なかたちでの「支援」が必要ではないでしょうか。</p>
<p>▼3館(和戸、百間、川端)体制により運営 ※ () 内はH25 開館日数 308日 稼働率 46.0% (46.2%) 利用者数 53,648人 (53,236人) 利用回数 5,112件 (5,117件) ・「地域の身近な学習拠点」 文化芸術から軽スポーツまで、様々な活動に利用 ・利用者が管理運営に参加 片付け清掃など管理運営の一部を利用者に協力いただくことで、施設への愛着と活動の主体意識を醸成 ・救急救命講習会を実施 ・卓球台を更新(川端公民館)</p>	<p>・公民館は町民の「憩い」の場でもありません。これからも多くの町民が集えるようお願いいたします。</p>

(2) 図書館活動の充実	所 管	自己評価
ア. 利用者の多様なニーズに応える資料の充実	生涯学習	○
イ. 子どもの読書活動への推進(としょかんこどもまつりの開催等)	生涯学習	○
ウ. おはなし会、講座等による図書館利用機会の充実	生涯学習	○
エ. 図書館広報活動の推進	生涯学習	○
オ. 学校との連携充実(団体貸出等)	生涯学習	○
(3) 図書館サービスの充実	所 管	自己評価
ア. 障がい者サービスの推進(福祉施設等への団体貸出・宅配サービス)	生涯学習	○
イ. インターネットを活用したリクエスト及び音楽配信サービスの充実	生涯学習	○
ウ. 広域相互利用の推進	生涯学習	○
エ. 自動貸出システムによるサービスの向上	生涯学習	○
オ. 指定管理者制度の運営状況の検証及びサービスの充実・向上	生涯学習	○

実績・成果	点検評価委員意見															
<p>指定管理 平成23年4月1日～ (株) 図書館流通センター</p> <p>▼平成26年度 開館日数 284日 / 利用者総数 175,152人 貸出者数 104,162人 (H25 102,271人) 貸出冊数 407,940冊 (H25 407,533冊)</p> <p>▼国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの開始 平成26年4月開始 (県内初) 宮代町立図書館内のパソコンから国会図書館がデジタル化した資料のうち約130万点の資料閲覧・コピーが可能。</p> <p>▼除籍雑誌無料頒布会 H27.3.21～22 頒布冊数 1,397冊 (H25 1,097冊)</p>	<p>・利用者総数などからも、様々な分野での利用が来ていることが確認できました。</p> <p>・新しいサービスの開始など、今後も多くの方が利用できる環境づくりに努めてください。</p> <p>・なお、国会図書館デジタル化資料送信サービスは良い取り組みだが、知らない町民も多いのではないのでしょうか。PRが大切です。</p>															
<p>▼子どものための各種事業</p> <table border="0"> <tr> <td>としょかんこどもまつり (4月20日)</td> <td>378人</td> <td>(H25 320人)</td> </tr> <tr> <td>ブックスタート事業 (12回)</td> <td>314人</td> <td>(H25 206人)</td> </tr> <tr> <td>すいようえほんの会 (毎月第二・四水曜日)</td> <td>676人</td> <td>(H25 299人)</td> </tr> <tr> <td>童話を読む会 (毎月第二土曜日)</td> <td>122人</td> <td>(H25 143人)</td> </tr> <tr> <td>紙芝居と折り紙 (毎月第二土曜日)</td> <td>253人</td> <td>(H25 324人)</td> </tr> </table>	としょかんこどもまつり (4月20日)	378人	(H25 320人)	ブックスタート事業 (12回)	314人	(H25 206人)	すいようえほんの会 (毎月第二・四水曜日)	676人	(H25 299人)	童話を読む会 (毎月第二土曜日)	122人	(H25 143人)	紙芝居と折り紙 (毎月第二土曜日)	253人	(H25 324人)	<p>・子ども達に図書館を利用してもらうために、様々な事業が行われていることが分かります。引き続き、子どもと図書館をより近いものにするための取組みを期待します。</p>
としょかんこどもまつり (4月20日)	378人	(H25 320人)														
ブックスタート事業 (12回)	314人	(H25 206人)														
すいようえほんの会 (毎月第二・四水曜日)	676人	(H25 299人)														
童話を読む会 (毎月第二土曜日)	122人	(H25 143人)														
紙芝居と折り紙 (毎月第二土曜日)	253人	(H25 324人)														
<p>▼各種講座・教室の実施</p> <table border="0"> <tr> <td>俳句教室 (全12回)</td> <td>193人</td> <td>(H25 187人)</td> </tr> <tr> <td>夏休み工作教室 (8月20日)</td> <td>22人</td> <td>(H25 25人)</td> </tr> <tr> <td>夏休み科学遊び教室 (8月8日)</td> <td>29人</td> <td>(H25 30人)</td> </tr> </table>	俳句教室 (全12回)	193人	(H25 187人)	夏休み工作教室 (8月20日)	22人	(H25 25人)	夏休み科学遊び教室 (8月8日)	29人	(H25 30人)							
俳句教室 (全12回)	193人	(H25 187人)														
夏休み工作教室 (8月20日)	22人	(H25 25人)														
夏休み科学遊び教室 (8月8日)	29人	(H25 30人)														
<p>▼広報誌発行 「図書館だより」 (毎月発行)</p> <p>▼ホームページ 「こどもの部屋」開設 ブログによる情報発信</p>																
<p>▼学校図書館の巡回 (毎週) 小中学校への図書館司書の派遣 (蔵書管理等の運営支援)</p> <p>▼学校団体貸出 小学校4,107冊、中学校1,954冊</p> <p>▼図書館を使った調べる学習コンクール参加 全国コンクール入賞2名 (佳作2)</p>	<p>・小中学校への図書館司書の派遣により、各小中学校図書室が整理され、活用も活性化されていると思います。</p>															
<p>実績・成果</p>																
<p>▼団体貸出し冊数 591冊 (H25 499冊)</p>																
<p>▼インターネットによる予約、お知らせサービス リクエスト件数 10,916件 (H25 10,506件)</p> <p>▼音楽配信サービス 利用件数 54件 (H25 35件) ナクソスミュージックコンサート等 行事参加者 176人 (H25 216人)</p>	<p>・昨年度比で貸出冊数が増。今後の増加にも期待します。</p> <p>・インターネットを活用したサービスなどは、広く知られていないように思われるので、情報発信については見直しも必要ではないでしょうか。</p>															
<p>▼他市町図書館との相互利用</p> <table border="0"> <tr> <td>他館への貸出</td> <td>3,139件</td> <td>(H25 3,385件)</td> </tr> <tr> <td>他館からの借受</td> <td>2,412件</td> <td>(H25 2,430件)</td> </tr> </table>	他館への貸出	3,139件	(H25 3,385件)	他館からの借受	2,412件	(H25 2,430件)	<p>・各市町図書館との連携が行われており、より充実している事は大変評価できます。</p> <p>・自動システムの導入により利便性が向上している点も同様で、今後も便利で利用しやすい図書館の運営に期待します。</p>									
他館への貸出	3,139件	(H25 3,385件)														
他館からの借受	2,412件	(H25 2,430件)														
<p>▼自動貸出システムの導入 H23に2台設置 貸出のスピードアップによりカウンターの混雑を緩和し、利便性の向上に寄与。</p>																
<p>▼毎月の報告状況の確認、図書館協議会での協議等により実施</p>																

2 未来をひらく、心豊かでたくましい児童生徒の育成

(1) 個に応じた指導の充実を図り、確かな学力を育む教育の推進	所 管	自己評価
ア. 少人数指導・習熟度別指導によるきめ細かな指導の充実	学校教育	○
イ. 3つの達成目標、学力学習状況調査等の結果の分析と学力向上対策の検討・実施	学校教育	○
ウ. 研究委嘱に基づいた研修の推進	学校教育	○

実 績 ・ 成 果	点検評価委員意見																														
<p>▼小学校 非常勤講師を8人配置し、少人数指導を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導やティームティーチングの指導により、個に応じたきめ細かな指導が充実 ・全国学力・学習状況調査 全校実施 <table border="1" data-bbox="135 376 798 470"> <thead> <tr> <th></th> <th>国語A</th> <th>国語B</th> <th>算数A</th> <th>算数B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小6 (宮代町)</td> <td>71.6</td> <td>58.4</td> <td>78.6</td> <td>58.1</td> </tr> <tr> <td>(埼玉県)</td> <td>72.5</td> <td>55.5</td> <td>76.9</td> <td>57.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成26年度は埼玉県学力学習状況調査・3つの達成目標検証テストは実施なし</p> <p>▼中学校 非常勤講師を6人配置し、少人数指導を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導やティームティーチングの指導により、個に応じたきめ細かな指導が充実 ・全国学力・学習状況調査 全校実施 <table border="1" data-bbox="135 795 798 896"> <thead> <tr> <th></th> <th>国語A</th> <th>国語B</th> <th>数学A</th> <th>数学B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中3 (宮代町)</td> <td>81.1</td> <td>54.3</td> <td>66.3</td> <td>60.8</td> </tr> <tr> <td>(埼玉県)</td> <td>79.4</td> <td>51.5</td> <td>66.2</td> <td>59.3</td> </tr> </tbody> </table>		国語A	国語B	算数A	算数B	小6 (宮代町)	71.6	58.4	78.6	58.1	(埼玉県)	72.5	55.5	76.9	57.8		国語A	国語B	数学A	数学B	中3 (宮代町)	81.1	54.3	66.3	60.8	(埼玉県)	79.4	51.5	66.2	59.3	<p>・「少人数教育」として各小中学校に町非常勤講師が配置され、児童生徒の学力向上や指導は元より、教職員が充実した指導にあたるためのサポートにもつながっています。</p> <p>・学力面でも、宮代町の子どもたちが、充実した学校生活を送り勉強に集中できていると思いますので、今後も継続をお願いします。</p> <p>・また、「心豊かな児童生徒」を育むためには、教職員にも「ゆとり」が必要です。並行して、業務の効率化にも取り組んでください。</p>
	国語A	国語B	算数A	算数B																											
小6 (宮代町)	71.6	58.4	78.6	58.1																											
(埼玉県)	72.5	55.5	76.9	57.8																											
	国語A	国語B	数学A	数学B																											
中3 (宮代町)	81.1	54.3	66.3	60.8																											
(埼玉県)	79.4	51.5	66.2	59.3																											
<p>▼学力向上等対策委員会を年間2回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果から明確となった自校の課題や課題解決に向けた具体的な指導内容や指導方法についての情報交換を行い、各校の取り組み内容、成果、課題等を共有 ・第1回学力向上対策委員会 期日：平成26年8月20日 内容：各校の課題と今後の対策について ・第2回学力向上対策委員会 期日：平成27年2月20日 内容：全国学力学習状況調査の分析と各小中学校の取り組み 	<p>・学力向上対策委員会を通して各校の取り組み、課題等が共有され、相互効果につながっていると思います。</p>																														
<p>▼各小中学校で授業研究を実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H26年度は、東小、須賀中学校で研究発表会を開催 ・百間中学校区(東小、笠原小、百間中学校)が文科省から「英語教育強化地域拠点事業」の委嘱を受け、小学校における英語の教科化の研究開発に取り組む 	<p>・課題解決に向けた情報交換や、授業研究により教職員の意識や資質の向上に大きく寄与していると考えられます。</p>																														

(2) 社会の変化に柔軟に対応し、学習指導要領の趣旨を生かした学校教育の推進

	所 管 学校教育	自己評価
ア. 中学校区を中心とした特色ある小・中学校一貫教育のさらなる推進		○
イ. 学校の実態に応じた特色ある教育課程の編成・実施・評価	学校教育	○
ウ. 環境教育の推進	学校教育	◎
エ. 外国語活動・英語教育の推進	学校教育	○
オ. 情報教育の推進	学校教育	○

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼小中一貫教育推進委員会（6月と2月に実施） 6月：各中学校区における本年度の年間計画及び具体的な取り組みについて 2月：各中学校区における本年度の実践内容と次年度に向けた課題について</p> <p>▼交流活動、交流授業、出前授業、9カ年を見通したカリキュラム等、各中学区で学校の実態に即した特色ある教育活動を推進</p>	<p>・宮代町の特色を生かしている事業の代表が「小中一貫教育」ではないでしょうか。それぞれの中学校区別の9カ年を見通した教育内容はとても素晴らしく、宮代町の教育は他市町に誇れるものです。</p>
<p>▼各小中学校における、宮代町教育委員会による委嘱研究推進 ▼宮代町教育課程検討委員会の実施（12月） ▼宮代町教職員全体研修会の開催 （教育課程伝達講習及び教科部会を実施）</p>	
<p>▼環境教育実践 ・キッズISOプログラム（小学6年生・257人） 国際認定者216人 <84%> 特別賞として、文部科学大臣賞、環境大臣賞、埼玉県知事賞等を6名が受賞 ・宮代江戸の日（7月の第1土曜日：7月5日）の取り組み ・キッズエコサミット（12月12日（金）実施） エコサミットの内容見直し（パネルディスカッション導入）</p>	<p>・環境教育に対する子どもたちの関心は大きいものがあり、子ども主体で行う「キッズエコサミット」は大変良い取り組みです。 ・また、キッズISOプログラムは、認定を目指して「家族一丸」で取り組みます。その成果である認定式へは多くの児童が参加できるような配慮をお願いします。</p>
<p>▼外国人英語指導助手（ALT）を配置（各中学校1名） ・具体的な場面や状況にあった適切な表現を自ら考えた言語活動など、コミュニケーション能力の向上に寄与</p> <p>▼各小学校へALTを週に1日派遣</p> <p>▼各中学校へ日本人外国語活動補助員を配置（各校1名） ・教員とALT、児童とのコミュニケーションの活発化に寄与</p> <p>▼外国語活動・英語教育研修会の開催</p>	<p>・国際化や、小学校における英語教育の教科化が進められています。 ・英語指導補助員の配置により児童生徒の指導が細やかになると思います。さらに、教職員支援にも寄与しています。</p>
<p>▼ICT（パソコン、大型テレビ等の情報通信技術）機器の効果的活用</p> <p>▼児童生徒、保護者、教職員を対象に情報モラル教育を実施（各小中学校） ・ネットトラブル防止を含め、情報モラル意識の向上に寄与</p>	<p>・今日、インターネットは不可欠なツールです。ネット社会は益々拡がり、トラブルも増大しています。 ・子ども達が被害者とならないよう、ネット理解とモラル意識を図る工夫をさらにお願いします。</p>

(3) 児童生徒の豊かな心と健やかな体の育成	所 管	自己評価
ア. 道徳教育の充実	学校教育	○
イ. 体力向上を図る指導の充実	学校教育	○
ウ. ボランティア活動・福祉教育・体験活動の推進	学校教育	○
エ. キャリア教育の充実	学校教育	○
オ. 読書活動の充実	学校教育	○
(4) 創意を生かし、地域に開かれた特色ある学校づくりの推進		
ア. 学校評議員の活用	学校教育	○
イ. 学校教育情報の積極的な発信	学校教育	◎
ウ. 学校評価制度の充実と評価の効果的な活用	学校教育	○

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼郷土道徳資料(「島村盛助」「どんぐりピアノ」「山崎山」)の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なことと結び付けての心の教育の推進 ・道徳教育に対する教員の意識や授業力の向上 <p>▼「宮代道徳の日(11月19日)」の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規範意識や生命を大切に作る心、他人を思いやる心等の豊かな心の育成に向けた学校における取組みを地域へ発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育の中でも、道徳教育は大切です。 ・町独自の道徳資料の活用や「道徳の日」の設定により、地域に密着した教育が図られています。 ・これからも思いやりを育む教育の推進に努めてください。
<p>▼宮代町立小・中学校児童生徒体力向上推進委員会(4回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育部会 進んで体力づくりに取組める児童生徒の育成(東小研究授業) ・保健部会 自らの健康を保持・増進できる児童生徒の育成(各校の健康教育の実践) <p>▼平成26年度第61回埼玉県学校歯科保健コンクール 最優秀校(百間中)、優良校(前原中)</p> <p>▼平成26年度体力向上優良校(須賀中学校)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校歯科保健コンクール表彰など、健康保持増進が、町全体で定着し継続しています。 ・昨今、子どもたちの体力不足が社会問題にもなっており、宮代町も例外ではないので引き続き体力向上、健康維持の取組みを継続して取り組んでください。
<p>▼各小中学校での福祉体験学習 (車椅子・点字・手話・アイマスク体験)</p> <p>▼学校ファームの推進</p> <p>▼職場体験学習(中学2年生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所などの職場で働き、また働く人と接することを通して、生徒の勤労観、職業観を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を的確に捉えはじめる中学生において、職場体験等を経験させる事はとても素晴らしいことです。
<p>▼ふれあい講演会を各中学校で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路に対する生徒・保護者の意識の啓発 <p>▼職場体験学習を各中学校で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所などの職場で働き、また働く人と接することを通して、生徒の勤労観、職業観を育成 	
<p>▼朝の読書活動、学校図書ボランティア活用、学校図書の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町図書館活動の充実とともに、各小中学校の図書活動が整備・活用され、活性化していると感じます。
実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼全小・中学校に学校評議員を設置(各校5名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全般についての意見交換 ・提言や意見を活用した特色ある学校づくりの展開 ・次年度の学校課題や目標設定の参考として活用 ・地域での子供たちの様子等についての意見から具体的な対応を实践 	<ul style="list-style-type: none"> ・こうした取組みは、学校をオープンにし地域や家庭の理解を得ることにつながります。また、学校評議員や評価委員による提言や意見を活用し、より良い学校づくりができています。
<p>▼学校要覧、学校パンフレットの作成(全小中学校)</p> <p>▼学校だよりの作成(全小中学校) 地域へも配布</p> <p>▼学校ホームページの更新 前原中、百間小ブログ開設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログによる学校情報の発信はニーズに適っていますが、反面、情報の適切な管理は必要です。
<p>▼学校関係者評価の実施</p> <p>▼保護者、地域への学校評価の公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の課題の明確化と、次年度に向けての教育計画の更新 	

(5) 特別支援教育の推進	所 管	自己評価
ア. 障がいのある児童生徒一人ひとりのニーズに応じた適正な就学支援の推進	学校教育	◎
イ. 児童生徒の障がいの実態把握と個別の指導計画の作成及びその推進	学校教育	○
ウ. 特別支援教育体制の確立と交流及び共同学習の推進	学校教育	○
エ. 特別支援教育サポーターの効果的活用	学校教育	○

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼就学支援委員会を年に3回開催（H26.5、11、H27.1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な配慮を要する児童生徒に対しての教育・医療・福祉等専門的分野からの適切な支援 <p>▼特別支援教育サポートチームによる各小・中学校訪問の実施（拡充・各校1回以上実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の観察と、専門的な立場から対象児童生徒の問題分析と効果的な指導法や対処法について学校へ提案 ・学校からの要請に応じて、ウイスクⅢ・Ⅳ（発達検査）の実施 <p>▼前原中学校に「自閉情緒学級」開設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援サポーター配置により児童生徒の指導が細やかになる他、専門的分野からの支援や効果的な指導法、対処法などが適切にできており、教職員支援、技術向上にも寄与しています。 ・充実したサポート体制であると思われるので、今後も一層の推進を期待します。
(同上)	
▼交流活動（宮代特別支援学校・春日部特別支援学校、小中学校間）の実施	
<p>▼特別支援教育サポーターを各小学校に1名配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別に配慮を要する児童に対しての適切な支援 	

(6) 総合的な不登校対策の推進		所 管	自己評価
ア. 充実した学校生活の実現を図る生徒指導、学習支援の推進		学校教育	○
イ. 教育相談体制の充実		学校教育	○
ウ. 小・中学校の連携強化		学校教育	○
(7) 危機管理体制の確立と安心・安全な学校づくりの推進		所 管	自己評価
ア. 交通安全教育の推進		学校教育	○
イ. 防災・防犯教育の推進		学校教育	○
ウ. 安全管理の定期的実施		学校教育	○

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼町非常勤講師として不登校対策学習支援員を各中学校に1名配置</p> <p>▼全教職員が共通理解の下、一人一人の児童生徒に寄り添いながら教育活動を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全児童・生徒に対する不登校児童・生徒割合0.72% (平成25年度国平均1.18、県平均0.94) (H26不登校の児童・生徒 16人 → H25 12人) <p>▼教育相談員(教育委員会事務局内 1人配置)</p> <p>▼教育相談員による学校訪問(毎月1回、各小中学校を訪問)</p> <p>▼さわやか相談員(中学校に1人ずつ配置)、ボランティア相談員(中学校に1人ずつ配置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さわやか相談室等で学び、教室への復帰支援 <p>▼スクールカウンセラー(県より1人、月に2日各中学校に配置)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な見地からの保護者への支援や相談活動 <p>▼いじめ・不登校対策会議の実施(年間3回、各学期1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校の課題や成果ある取組みについての共有化 	<p>・町単独の「不登校対策支援員」が、さわやか相談室を介して不登校児童生徒の学習相談にも応じています。</p> <p>・全国、県平均から見ても宮代町の不登校割合は低いようですが、相対として不登校児童生徒数が増加しているのは事実です。「不登校ゼロ」を目指して更なる対策を期待します。</p>
実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼防犯ブザーの配布(新入学児童242人)</p> <p>▼交通安全対策啓発用資料・防犯対策啓発資料「気をつけて」の作成、配布(全児童生徒へ配布)</p> <p>▼交通安全教室開催(各小中学校)</p> <p>▼「こども110番の家」の設置(126軒、前年度より1件の減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抑止力として、不審者による重大な事件発生なし <p>▼「スクールガード」(各小中学校で組織、計265名)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「スクールガードリーダー」(各小中学校に1名、県からの委嘱) ・下校時における不審者情報の減少 ・地域の防犯意識の高揚 <p>▼各小中学校における避難訓練(毎学期)</p> <p>▼各小中学校において年に1回、薬物乱用防止教室を開催</p> <p>▼緊急時における対応マニュアルの見直し</p> <p>▼各学校において月に1回、定期的に校内安全点検(施設等)実施</p> <p>▼通学路点検(年1回・随時)</p>	<p>・昨今、道路整備が充実し、抜け道としての利用が増え行きかう車の台数が増加していると感じますので、子どもの身を守るために更なる交通安全や防犯対策をお願いします。</p> <p>・緊急時における対応マニュアルの見直しは、児童生徒の臨機応変な行動力を促す基になるもので、あらゆる事態に備えられるマニュアルの理解徹底を教育委員会・学校・家庭・地域で共有できるようお願いします。</p>

(8) 学校給食の充実と食育の推進	所 管	自己評価
ア. 学校給食の充実と地産地消の推進	教育総務	○
イ. 給食センターの施設環境整備の充実	教育総務	○
ウ. 「食」に関する指導の充実	教育総務	○
エ. 学校給食の安心・安全対策の推進	教育総務	○

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼多様な献立メニューの実施 「世界の料理」、「日本全国の郷土料理」、「季節の行事食」、「我が家の自慢料理」など、楽しく食べながら社会性や豊かな人間性を醸成</p> <p>▼地場産食材の活用 宮代産農作物 [36品目 / 使用量 米23.1t、野菜等12.9t]</p> <p>▼放射線対策 随時、町HPで公開中 ・使用食材の産地(予定・実績) ・使用食材の放射性物質の測定(3品目×週2日めやす)</p>	<p>・学校給食は充実した献立メニューでいろいろな工夫が凝らされています。また、保護者間でも「試食会」は人気が高くなっています。</p> <p>・放射線対策や施設の改修工事等、安全面にも配慮されており、管理、指導両面から、きめ細かな対応が充実しており、「食」による児童生徒の健康が図られています。</p> <p>・また、食は「看板」でもあります。宮代町のPRにもつながりますので、もっと学校外にも拡げてみてはどうでしょうか。</p>
<p>▼施設の定期保守・点検と改修・修繕 ・改修・修繕の実施 ・調理場天井改修、PAS交換工事</p>	
<p>▼食育の推進 ・授業を通じた栄養指導(小学1年生～中学2年生) ・給食だより(毎月)、食育だより(毎学期)による食育推進</p>	
<p>▼基準・マニュアルに基づき適正に運営</p> <p>▼食物アレルギー対応 対象児童・生徒に対する「除去食」「代替食」の提供</p>	

3 教育環境の整備・充実

(1) 教育施設・設備の充実及び学校環境の整備		所 管	自己評価
ア. 家庭地域と連携した学校の安全対策の推進	教育総務 学校教育	◎	
イ. 長寿命化計画と連動した環境整備の計画的推進	教育総務	×	
ウ. 安全で快適な学習環境づくりの推進	教育総務	○	
エ. 教材・教具・備品等の整備と効果的な活用	教育総務 学校教育	○	
オ. 災害に備えた学校施設の整備	教育総務	△	
(2) 小中学校適正配置計画の策定		所 管	自己評価
ア. 審議会での適正配置の効果的な検討	教育総務	○	
イ. 市民参加方策の推進による市民の声の反映	教育総務	○	

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼監視カメラ設置 小学校4校</p> <p>▼「スクールガード」(各小学校で組織、計265名) 「スクールガードリーダー」(各小学校に1名、県からの委嘱)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下校時における不審者情報の減少 ・地域の防犯意識の高揚 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策として「防犯カメラ」を設置された点は評価できます。また、スクールガードや地域の防犯意識が高まり一定の成果が得られています。 ・全般として、安全対策のために設備、地域人材活用両面から充実工夫が図られています。
<p>▼施設長寿命化計画に係る整備は未実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の安全、安心は必須です。
<p>▼教室の環境改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設修繕・改修工事 安全かつ快適な教育環境の維持 (以下、主なもの) 全 校 普通教室エアコン設置(小学1年、中学3年、特別支援) 須賀小 図書室・図工室照明修繕工事 百間小 給水管改修工事 東 小 体育館屋根改修工事 笠原小 プール塗装工事 <p>▼放射線対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大気中の放射線量の定期測定(月1回)、公表 ・ホットスポット計測(2回) 	<p>各校においての施設の修繕や改修工事等による環境維持の取組みが確認できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に備えた学校整備は、避難所としてとても大切ですので継続してください。
<p>▼授業の内容を深め、学力向上を図るため教材教具の設備充実 (理科、算数・数学)</p>	
<p>▼各校の危険箇所修繕を実施 (防災に特化した事業の実践はなし)</p>	
実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会会議(3回開催)、ワーキンググループ(延べ9回)による検討実施 ・「宮代町立小中学校適正配置等の基本的考え方」答申(H26.12.18) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大変関心の高いテーマであり、今後の情報発信をお願いします。
<p>▼教育フォーラム2014開催(H26.8.30)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 「宮代町の教育の未来を考える」 ～ 宮代の子どもは宮代みんなで育てる ～ ・基調講演及びパネルディスカッションを実施 講演者 共栄大学教育学部長 藤田 英典氏 	

4 人権を尊重する心豊かな人づくりの推進

(1) 人権を尊重する教育の推進	所 管	自己評価
ア. 人権教育の推進	学校教育 生涯学習	○
イ. 研修会の充実・啓発活動及び指導者育成の推進	学校教育 生涯学習	○
ウ. いじめや差別を許さない児童生徒の育成	学校教育 生涯学習	○
エ. 児童生徒一人ひとりの自己実現を促す指導の充実	学校教育	○
オ. 学校における児童虐待防止対策の推進	学校教育	○

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼各種研修会と宮代町人権教育推進協議会による活動 人権意識の高揚と差別のない明るい地域社会づくりの推進が図られ、研修等を通して人権について考えるきっかけを提供し、人権を尊重する意識の高揚。</p> <p>▼人権文集(あおぞら第20集)の発行 700部</p> <p>▼宮代町人権教育推進協議会による啓発研修会 3回・111人</p>	<p>・一人一人の個人にある権利が人権です。子どもたちがしっかり人権について学ぶことが出来ている所が確認できました。</p> <p>・いじめ撲滅を目指して継続をお願いします。</p>
<p>▼教職員研修会開催(H25.8) テーマ「人権・同和問題の解決を目指して」130人</p>	
<p>▼子どもの人権講座(H26.12 小学6年生 268人)</p> <p>▼人権作文発表会(H26.12 小中学生 166人)</p> <p>▼宮代町いじめ防止基本方針の策定</p>	
<p>▼宮代道徳の日(11.19)の活動 (再掲)</p>	
<p>▼教育相談員による学校訪問(毎月1回、各小中学校を訪問)</p>	

5 家庭・地域の教育力の向上

(1) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進		所 管	自己評価
ア. 「彩の国教育の日」の充実		学校教育	○
イ. 積極的な学校公開の推進		学校教育	○
ウ. 学校応援団活動の充実		学校教育	○
(2) 青少年健全育成の推進		所 管	自己評価
ア. 青少年が健やかに成長できる環境づくりの推進		生涯学習	○
イ. 青少年体験活動の推進		生涯学習	○
ウ. 青少年関係団体の育成・支援		生涯学習	○
エ. 青少年の自立と成人の自覚を促すための支援		生涯学習	○
(3) 家庭での教育力の向上		所 管	自己評価
ア. 家庭教育学級の開催とその充実		生涯学習	△
イ. 家庭教育支援体制の整備		教育総務 学校教育	○

実績・成果	点検評価委員意見
▼教育活動の公開と紹介(学校だより等) ▼町民文化祭への小中学校参加(H26.11)	・家庭教育に関するテーマ、講師などの情報提供があれば、各校で開催していた講演会をもっと規模を大きくして…、と発展するのではないのでしょうか。
▼授業公開(各小中学校) ▼各学校行事(運動会、文化祭等)	・学校公開により家庭や地域に理解を求め、信頼される学校づくりにつながります。 ・また、学校応援団の活動も学校が身近に感じれば、より一層力が入ることと思います。
▼学校応援団活動 (図書ボランティア、環境整備、部活動・学習支援、スクールガード他)	・子どもは、地域に育てられる面も多いので、今後の更なる推進を期待します。
実績・成果	点検評価委員意見
▼青少年非行防止活動(青少年育成推進員) コンビニエンスストア巡回、夜間パトロール実施など ▼子ども大学みやしろの開催 4日間 参加者数 52名(H25 65名) ・子供たちの知的好奇心に応える場として日本工業大学を中心として講座開設 ・学校の授業では経験できない知識や体験を通じて「学ぶ力」や「生きる力」を育成 ▼みやしろ郷土かるた大会の開催 66チーム・198名(H25 62チーム・185名) 郷土宮代の歴史、名所、文化などを感じ郷土愛を育むため実施競技を通じた仲間づくり、ルールを守ることなど健全育成につながる体験機会を提供	・次代を担う青少年の安全確保のパトロールや郷土かるた大会は、社会には守らなければいけないルールがあることを教える好機です。 ・また、社会の一員としての自覚を促す取り組みなど高く評価できます。
▼青少年育成団体との連携 ・青少年相談員によるサマーキャンプの実施 ・青少年育成推進員による啓発活動、非行防止パトロール他の実施 ・子ども会育成連絡協議会による、かるた大会への協力	
(一部再掲) ▼成人式の開催(H27.1.11) ※()内はH25 出席者数 240人(244人) 出席率 67.0%(61.9%) ・新成人11人が実行委員となり、二十歳の思い出となる式を自分たちの力で実現。 ・実行委員のうち3人が選挙の立会い人を努めるなど成人としての自覚を促すための支援。	
実績・成果	点検評価委員意見
家庭教育学級の効率化と実施効果の拡大を図るため、学校・PTAとの連携開催についてのアンケートを実施	・子ども達の健やかな成長は私たちの願いですが、家庭内において子どもを正しく理解するのがいざばん難しいのも事実です。今後は学校や保護者と計画的かつ継続的に取り組んでいただきたいと思えます。
▼就学援助費の支給 ・小学校 就学援助費支給者は189人(11,651,868円) 特別支援教育就学奨励費支給者は7人(188,185円) ・中学校 就学援助費支給者は143人(13,949,144円) 特別支援教育就学奨励費支給者は4人(213,003円) ▼私立幼稚園就園奨励費の交付(国庫補助制度) ・保育料の一部助成 ▼私立幼稚園振興助成金の交付(町単独事業) ・各幼稚園の学習環境等の改善や、幼児教育プログラムの向上	・様々な要因から家庭教育が困難になってきている家庭が増えているので、こうした支援は必要です。

6 伝統文化の継承と新しい町民文化の創造

(1) 郷土資料館活動の充実		所 管	自己評価
ア. 資料の収集・整理・保存と活用の充実		生涯学習	○
イ. 各種展示・体験学習・講座等の充実(資料館サービスの推進)		生涯学習	○
ウ. 資料の調査・研究の推進		生涯学習	○
エ. 学校との連携活動の推進		生涯学習	○
オ. 島村盛助氏顕彰の推進		生涯学習	○
(2) 文化財保護の推進		所 管	自己評価
ア. 文化財の保護・保存と活用の充実		生涯学習	○
イ. 文化財の調査の推進		生涯学習	○
ウ. 文化財保護意識を高める啓発・普及活動の推進		生涯学習	○

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼開館実績 日数 282日 / 利用者総数 9,321人 「見て、聞いて、体験して」という基本的な考えのもと特別展や企画展、講座等を実施すると共に、資料の整理、保存を図った普及、啓発事業の実施 ・資料館だよりの発行(年3回) ・郷土資料館のホームページを通じて、宮代町の歴史、文化財を紹介</p>	<p>・郷土資料館の活動は文化意識のバロメーターです。来館者数では量れない文化レベルの高さが窺われます。 ・また、学芸員の知識も豊富です。</p>
<p>▼特別展・企画展の開催 「英文学者 島村盛助Ⅱ」、「身のまわりの生活史9～モノを入れる」、「道仏北遺跡発掘出土品展Ⅲ」、「おひなさま」、「江戸時代の百間中島村」</p> <p>▼各種講座・体験学習教室の開催 夏休みを中心として各種の講座を実施 「縄文土器づくり教室」「夏休みとっておき体験～郷土資料館へ行こう」「移築民家と「アタラシイ」ゲキ11」(20人) 「かやぶき民家で聞く昔話」(20人)</p>	<p>・郷土資料館では、大変貴重な文化財や宮代町の歴史についての情報発信が来ています。 ・また、様々な企画があり子どもから大人までの幅広い活動はとても充実しています。</p>
<p>▼古文書・民俗資料の整理</p>	
<p>▼小学生の昔の暮しや道具、遺跡や土器の説明等の学習支援</p>	
<p>▼島村盛助氏の作品、足跡等を毎月広報に連載(1月号で終了)</p>	
実績・成果	点検評価委員意見
<p>文化財保護法に基づく、試掘調査、発掘調査、整理作業 ▼埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘調査 ▼埋蔵文化財の発掘調査、遺物整理の実施 ・地蔵院遺跡、中寺遺跡の発掘調査 ・昭和63年度地蔵院遺跡等の整理作業を実施 ▼道仏土地区画整理事業に伴う道仏遺跡の発掘調査、整理作業 ・道仏遺跡の発掘調査 ・平成20、22～23、25～26、26年度道仏遺跡の発掘調査の整理作業を実施</p>	<p>・文化財は、宮代町の歴史を学ぶ上で大変貴重なものです。 ・遺跡などの当時の生活や築き守られてきたもの、そのすべてが今度は私たちが後世に伝えていくのが仕事です。 ・今後も情報発信、保護に努めてください。</p>
<p>町内に残る貴重な文化財の保護と、文化財に対する調査 ▼文化財保護委員会の運営(委員7名)(3回開催) 指定文化財候補について審議、調査等 ▼指定文化財保存事業補助 県指定文化財五社神社防災設備保守点検事業 県指定文化財五社神社本殿屋根・柱等修理事業</p>	
<p>町内に残る貴重な文化財を保護するための啓発活動 ▼文化財案内板の設置 東小学校 ▼発掘調査現地見学会の開催 道仏遺跡発掘調査現地見学会(120人)</p>	

(3) 文化・芸術活動の振興		所 管	自己評価
ア. 町民の自主性を尊重した文化・芸術活動の促進と学校教育活動との連携		生涯学習	○
イ. 社会教育関係団体の育成・支援		生涯学習	○

7 町民の健康増進とスポーツ・レクリエーションの振興

(1) スポーツ・レクリエーション活動の振興		所 管	自己評価
ア. 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		生涯学習	○
イ. 各種スポーツ大会・教室の開催		生涯学習	○
ウ. 誰でも気軽にできる健康・体力づくり活動の推進		生涯学習	○
エ. スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援及び指導者の養成		生涯学習	○
オ. 効果的な広報活動(情報提供)の推進		生涯学習	○
カ. 指定管理者制度の運営状況の検証及びサービスの充実・向上			○

実績・成果	点検評価委員意見
<p>[再掲] ▼みやしろ大学の開催 ▼町民文化祭の開催</p>	<p>・「文化講演会」などにより幅広く住民に学びの機会を設けてください。</p>
<p>(一部再掲) ▼特定分野総括助成金の交付 宮代町文化協会 (420,000円) 市民団体との継続的な協働により、町の文化芸術の振興を図るため、宮代町文化協会に対し助成金を交付</p>	<p>・みやしろ大学や町民文化祭などは、宮代町が誇れる取組み。継続的な活動の促進や連携を期待します。</p>

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼第42回町民体育祭 参加チーム 20(43地区) / 参加者 1,346人</p> <p>町民の健康増進、体力の向上、生きがいつくりなどの面で、大きな役割を果たすべく、他者との連帯感を生み出し、地域コミュニティの醸成にも寄与</p>	<p>・体育祭は健康増進とともに、地域力の向上に大きな意味を持ちます。 ・参加率が50%を切っている現状を考えると、手法を考えなければならない時期に来ていると考えますので、関係諸団体、議会、町当局を含めてアイデアを出し合い、根本的な実施計画を検討する必要があります。 ・他市町の例も参考に、地域別の開催や、場所の選定、プログラム検討など熟考ください。</p>
<p>▼町民スポーツ大会(9大会) 参加者総数 1,123人</p> <p>▼第31回宮代町綱引大会 準備を進めたが、小学校でインフルエンザ流行のため中止</p> <p>▼生涯スポーツ委託事業(空手・スキー・障がい者太極拳) 参加者総数 698人</p> <p>▼第17回ファミリーハイキング(H26.11. 東京都高尾山) 大人42人・子供 3人</p> <p>▼第40回年少者スキー教室(H27.1. 栃木県湯元スキー場) 小学4～6年生 254人</p>	<p>・スポーツ大会や教室など一定の成果が出ています。健康維持や体力向上のために、より多くの町民参加を期待します。</p>
<p>▼スポーツ推進委員活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人のスポーツフィールド (全10回・延べ95人) ・あそびと運動 トライ(全10回 延べ137人) チャレンジ(全15回・延べ370人) ・大人の体力テスト(H26.9 14人) 	
<p>(一部再掲) ▼特定分野総括助成(スポーツ・レクリエーション分野) 宮代町体育協会 (650,260円) 宮代町レクリエーション協会(135,000円) 市民団体との継続的な協働により、町のスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、団体に対し助成金を交付</p>	<p>・総合型地域スポーツクラブが間もなく設立されると聞きました。地域スポーツの「プラットフォーム」でもあり、町全体で盛り上げる必要があります。</p>
<p>▼広報誌発行 スポーツ推進委員だより(年1回)</p>	
<p>▼総合運動公園 開館日数 301日/利用者総数209,070名</p> <p>・指定管理 第1期:平成20年4月1日～ ミズノ 第2期:平成25年4月1日～ ミズノグループ 管理業務や経理状況に関する報告(随時)定期打合(月1回)実施</p>	

(2) 社会体育施設的环境整備と充実	所 管	自己評価
ア. 総合運動公園及び地区グラウンド等の施設環境整備とサービスの充実	生涯学習	○
イ. 学校体育施設利用の促進	生涯学習	○

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼総合運動公園 開館日数 301日／利用者総数209,070名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理 第2期:平成25年4月1日～ ミズノグループ 管理業務や経理状況に関する報告(随時)定期打合(月1回)実施 ・大規模修繕、改修 メインアリーナ、サブアリーナ床下修繕工事 非常用照明設備修繕工事 ・自主事業の実施 スポーツ(テニス教室、水泳教室、バトミントン教室、新体操教室等) 健康(膝痛・腰痛体操教室) <p>▼社会体育施設 開園日数 359日 / 利用者総数 69,001人</p> <p>地域の身近な運動広場として、草刈や修繕など適切な管理を行い、スポーツ活動や地域コミュニティ醸成のため地域活動などにも利用</p> <p>グラウンド 4箇所 前原、東、宮東、東条原 テニスコート 1箇所 宮東 アーチェリー場</p>	<p>・宮代町にはたくさんの体育施設があります。 厳しい財政状況の中、これらを維持管理していくことは大変ですが、適切な管理ができています。今後も町民に愛される施設の維持や利用促進を期待します。</p>
<p>▼学校施設開放(再掲)</p> <p>体育館(各小中学校) グラウンド(各小学校) 集会室(笠原小学校) 夜間照明(前原中学校)</p>	